

2022年度 龍谷大学学生生活動支援制度 「龍谷チャレンジ」募集要項

■事業の趣旨・目的

学生の正課以外の自主活動及び社会や地域と連携した社会連携活動を支援することで、学生の主体的な学びに資するとともに、社会貢献活動の推進に寄与することを目的としています。

■部門について

社会や本学にとって有意義な活動を対象とした「自主活動部門」と、地域住民・企業や行政等と連携した活動を対象とする「社会連携・社会貢献活動部門」を設けています。

なお、「社会連携・社会貢献活動部門」は、再生可能エネルギーを活用したメガソーラー発電施設「龍谷ソーラーパーク」の事業主（株）PLUS SOCIAL 及びPS 洲本（株）からの寄付金を原資としています。

■募集について

《共通事項》

2022年度内（2022年4月1日から2023年2月28日まで）に実施及び完了する事業で、以下の両方の要件に該当するものを対象とします。

なお、募集以前に活動を開始し、現在も活動を継続している事業も対象としますが、支援の対象は2022年度内の活動に限ります。

(1) 正課以外の活動であること。

※正課（ゼミ等）から派生した有志団体によるプロジェクト等は対象となります。

(2) 営利を目的としない活動であること。

《自主活動部門》

1. 募集内容

社会や本学にとって有意義な活動、とりわけ「他者に対する思いやりをもって、他者のためになる活動」を重点的に支援します。

2. 応募条件・対象事業

(1) 本学学生のみで構成された団体を対象とします。

(2) 各団体の日常活動は対象外としますが、募集内容に合致し幅広く社会や本学にとって有意義な事業となる可能性があるものは選考対象とする場合があります。

(3) 他の団体や組織に所属または付属し、本学学生の自主的な活動と判断が出来ない場合は対象外とします。

(4) これまでに「龍谷チャレンジ」に採用され、そのプロジェクトを継続して申請する場合は、当該取組みが、さらに発展した内容であることを客観的に判断することができる資料（書式自由）を申請書と併せて提出してください。

《社会連携・社会貢献活動部門》

1. 募集内容

地域振興、社会貢献に寄与する学生の自主的な活動を支援します。

2. 応募条件・対象事業

活動主体が本学学生である団体が学外の団体やグループ（地域住民、企業や行政等）と共同して取り組む事業を支援します。

◇「共同」の定義について

協定書の締結等、明文化された協定の締結は条件としません。学外の団体やグループと協力・共同して取り組む実態や見込みがあれば結構です。

3. 社会連携・社会貢献活動部門へ応募される団体へのお願い

本学では、ノーベル平和賞受賞者で経済学者のムハマド・ユヌス博士との会談を経て、2019年に「ユヌスソーシャルビジネスセンター」を設立しました。世界各地にあるユヌスソーシャルビジネスセンターのネットワークに加わり、ソーシャルビジネスの地域実装につながるような研究活動や社会活動を支援し、大学地域連携型の事業の発展に取り組んでいます。

社会連携・社会貢献活動部門に応募される団体には、ユヌス博士の提唱するビジョン(Co2排出0、貧困0、失業0)を達成するための“3ZERO CLUB”へ参加し、こちらの活動も併せて展開していただけますと幸いです。

“3ZERO CLUB”への参加については、以下のURLを確認してください。

[“3ZERO CLUB”への参加について | YSBRC | 龍谷大学](#)

■支援金額・件数

- (1) 自主活動部門：1件あたり上限30万円・3件程度
- (2) 社会連携・社会貢献活動部門：1件あたり上限30万円・7件程度

■選考方法等

- (1) 選考方法
1次選考(書類選考)及び2次選考(面接：対面・オンライン)による評価を行います。
- (2) 審査基準
事業内容の具体性、新奇性、社会的ニーズへの合致度、発展性等を総合的に審査します。
- (3) 結果の公表
採択団体・事業については、メールで通知します。なお、採否にかかる審査過程の詳細は非公開とします。また、活動事例をホームページで紹介する予定です。

■支援金について

採択された事業に対し、原則として、事前払いで支援金を交付します。

本制度は団体が主体的に実施する事業に対し支援することを前提としています。支援金の充当が認められる対象は「申請した事業に直接かかる費用」のみです。したがって「各団体の運営のために支出する費用」は認められません。

支援金の充当について不明な場合は、事前にお問い合わせください。

【支援の対象となる経費】

交通費、通信運搬費(電話代、郵送及び宅配便等)、印刷製本費(資料等のコピー代、チラシ等作成費)、資料費(図書・文献購入費)、機材購入費、消耗品費、その他(保険料、委託費等)
※諸謝金(講師や外部協力者への謝金)が必要な場合は、事前に相談してください。

【支援の対象とならない経費】

団体運営経費、飲食費※(昼食代や会議・懇談会の茶菓代等)、会合費、交際費、申請団体メンバーへの賃金等

※ただし、プロジェクトの活動内容に飲食物が不可欠の場合は、事前に相談してください。

両部門ともに事業終了後に決算報告を行っていただきます。事業実施が不可能な場合や事前に相談なく事業内容を大幅に変更している場合、支援対象とならない経費が含まれている場合は、支援金の一部又は全額を返金していただくことがあります。

■申請方法・書類提出先

提出物	申請書類データ 1部
提出先	自主活動部門：学生部(深草) gakusei@ad.ryukoku.ac.jp 社会連携・社会貢献活動部門：REC 事務部(京都) rec-k@ad.ryukoku.ac.jp

提出方法	<ul style="list-style-type: none"> ・申請書様式等はポータルサイトからダウンロードできます。 ・申請書（Word データ）をメールに添付して提出してください。 ・メールと申請書の題名を「2022 龍谷チャレンジ_申請団体名_申請部門名」にして、各部門の提出先メールアドレスに送信してください。 ・送信後、各部門からの「受付完了」を知らせるメール返信を確認してください。返信が土日を除き 2 日以上無い場合は、提出先が受信出来ていないなどトラブルの可能性がありますので、電話で確認してください。 ・審査の過程で、内容に関する確認を行う場合がありますので、申請代表者はメールを随時確認してください。
------	---

■募集期間

2022 年 5 月 13 日（金）～2022 年 6 月 13 日（月）【必着】

■採択までのスケジュール（予定）

- ・2022 年 5 月 13 日（金）受付開始
- ・2022 年 5 月 13 日（金）12:40～13:20 説明会（オンライン）
<https://us06web.zoom.us/j/85828929942?pwd=dU1VcmNVUUdyQ3ZidFFoOGJKVIBBZz09>
- ・2022 年 6 月 13 日（月）申請書類メール提出〆切【必着】
- ・2022 年 6 月中旬 書類選考（一次選考）
 ※結果は、申請書記載の連絡先へ E メールで通知します。
- ・2022 年 6 月中旬～下旬 選考面接（二次選考）
 ※詳細は、申請書記載の連絡先へ E メールで通知します。
- ・2022 年 6 月下旬～7 月上旬 採否結果通知
 ※結果は、申請書記載の連絡先へ E メールで通知します。

■採択団体の義務

本事業に採択された場合、年度内の活動完了後、最終報告書の提出や報告会での発表等、大学が定める成果報告を行う必要があります。また、指定期日までに決算報告書の提出を求めます。

■コロナ禍に伴う注意事項

- (1) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、申請する活動における感染予防対策の策定が必要です。
 採択された場合は、感染予防対策の提出を求めますので、コロナ禍の中での活動を想定した申請書を作成してください。十分な感染対策を講じることができないと判断した場合、採択後であっても、活動内容の変更をお願いすることがあります。
- (2) 活動にあたっては、メンバーの 2 週間の健康観察が必要です。活動に先行して以下の様式を参考に記録を開始してください。
「各構成員体調記録表」 ※ポータルに掲載する募集のお知らせに添付します。
- (3) 新型コロナウイルス感染症の流行や社会情勢等によって、大学から活動自粛の指示等があった場合は、その指示に従ってください。

問合せ先	《自主活動部門》 学生部（深草） E-Mail: gakusei@ad.ryukoku.ac.jp TEL:075-645-7889
	《社会連携・社会貢献活動部門》 REC 事務部（京都） E-Mail: rec-k@ad.ryukoku.ac.jp TEL:075-645-2098